

(様式1)

## 令和4年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)  
富山県総合運動公園 都市計画課

2 施設所在地  
富山市南中田

3 施設設置年度  
平成5年度

4 設置目的  
平成12年に開催された2000年とやま国体のメイン会場として整備された県内最大級の運動公園

5 施設概要  
敷地面積：46.0ha  
主な施設  
・陸上競技場：37,344㎡ 400mトラック9コース、インフィールド<sup>※</sup>芝生舗装（106×70m）  
観客席約25,000人収容可能  
・補助競技場：23,598㎡ 400mトラック7コース  
・屋内グラウンド：6,354㎡  
・芝生スポーツ広場：12,630㎡  
・多目的広場：軟式野球場2面等 38,000㎡  
・クロスカントリーコース：2.1km

6 指定管理者  
公益財団法人富山県民福祉公園

7 指定期間  
5年  
令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日

### 8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

#### (1) 利用者数（人）

H30	R1	R2	R3	R4
824,451	825,440	659,124	690,456	769,460

#### (2) 利用（使用）料金収入（千円）

H30	R1	R2	R3	R4
23,892	22,414	20,238	21,394	25,205

#### (3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H30	R1	R2	R3	R4
19,234	19,412	19,591	19,591	23,175

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・利用者数は令和3年度比111.4% (79,004人増)、有料公園施設の料金収入は令和3年度比117.8% (3,811千円増)となった。  
・五福陸上競技場が長期間の改修工事を実施していたことにより、サッカーの大会開催や個人利用が増加した。遠距離旅行などの行動制限が求められた時期には、高齢者を中心とした近距離の公園利用が増加した。

### (2) サービス向上に向けた取組み

・利用料金支払いについて、キャッシュレス決済を導入した。

### (3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・樹木医と園内植生の樹木や草花の名称や特長を学習しながらウォーキングする「樹木医と木間間(きまま)にウォーキング」など、利用者の要望に答えたイベントを実施した。  
・インターネット予約システムの定着により、冬期間の利用希望が多い屋内グラウンドの空き状況がリアルタイムで把握でき、効率的な運用が利用者に定着した。  
・冬期間に人気が高い屋内グラウンドについて、冬期間に限り休園日も営業した。  
・会議室利用PRを継続して実施した。

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

#### ① アンケート結果

実施方法	イベント参加者アンケート
回答者数	827人
結果	・緑の綺麗さや眺望などの高評価が多かった。 ・公園内の花木の手入れ等管理や職員の対応も好評だった。 ・悪評価は少数だったものの、一部の犬の散歩やランナーのマナー違反や夜間照明の改善といった意見があった。
結果を踏まえた改善事項	・担当職員に樹木等の維持管理業務委託業者を加えた安全対策協議会において管理状況などの情報を共有し、職員及び受託業者の維持管理スキルをハイレベルで平準化していく。 ・園内サインの見直しと職員巡視の充実によるマナー向上、照明器具のLED化に係る計画的な更新を実施する。

#### ② その他利用者の声を反映させる取組み

・園内全トイレをウォシュレット付の洋式トイレに変更した。  
・自主イベントの充実を行った。  
・カタールレ富山ホームゲーム開催日に合わせたイベント招致を関係者と連携して行い、来園者満足度の向上を図った。

#### ③ 主な苦情と対応

・テニス壁打ち場について、付近に通行者がおり危険。⇒注意喚起の掲示物掲示と巡視時の指導徹底を実施した。  
・サッカー試合観戦者が横に広がってクロスカントリーコース内通行を歩行しており、ランニング利用者とぶつかる危険がある。⇒サッカー大会交通誘導員に従業務内容の再徹底を確認した。

(5) 個人情報保護の取組み

・個人情報に関する指針を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

・陸上競技場をホームスタジアムとするカターレ富山のホームゲーム時に企画実施された各種イベントに全面協力を行った。  
・利用者や地元自治会のボランティアにより、清掃、防犯パトロールなどを実施した。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に維持管理を行っている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網、非常管理マニュアルを作成するなど、適切に危機管理・安全管理に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

-

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う利用者数や料金収入については、令和3年度より更なる改善がみられる。指定管理者では、大型の試合・大会の誘致や利用の少ない冬期間のイベント等を行っているほか、利用料金の支払いにキャッシュレス決済を導入する等、利用促進と利便性の向上に努めていることが認められる。  
・夜間照明については、計画的に修繕・更新(LED化)を行っていく必要がある。  
・今後とも、富山県のスポーツの中核施設として、利用の呼びかけやニーズ把握を積極的に行い、利用促進・利用者へのサービス向上に努めるとともに、全国規模の大会会場としてふさわしい施設の維持に努めてもらいたい。